

レインボータウンFM47

伊藤広規 「旅と人と音楽と」  
(第 47回 2018. 9. 190A)

【第47回オープニング】

みなさんこんばんは。ベーシストの伊藤広規です。  
レインボータウンFM、伊藤広規「旅と人と音楽と」今夜は第47回目！  
それでは行ってみましょう！

【説明1】

この番組は、周波数79. 2メガヘルツ「レインボータウンFM」から江東区を中心に、その周辺のエリアにお届けしています。  
サイマルラジオ、リスラジなどのインターネットラジオなら、日本のみならず世界中でお聞きいただけます。

【トーク1】

私、長崎にいます。ここはエキゾチックな街！  
長崎に合いそうな、この曲から  
サーディンディン 2007年アルバム「アライブ」から  
ママ・テン・ナ(チベット語)

【曲途中】

この曲を初めて耳にしたのは、友達が出ている芝居を観に行っってそこで使われていました。  
芝居は、1940年代の中国を舞台にした日本人の物語で、舞台は砂漠のような戦場と現代とがリンクしていく。シリアスなのにノスタルジックなストーリーでした。  
芝居に溶け込むようにこの曲が流れて。  
中国風ではあるけど打ち込みのリズムでグルーブを感じるし、ドラやアジアのパーカッション、無国籍のようで。ジャンルがわからないですよ。  
こんなスケールのでかい世界観の曲が今 中国で流行ってるのか？  
頭の中はハテナがいっぱいになりました。  
芝居から帰って、友達に、この曲のことを聞いたら「サーディンディン」というヨーロッパで活躍してる中国系の歌手とわかり、早速探して買いました。

《1 曲目～2曲目へ》

2曲目もサー・ディンディン(薩真真)から  
アルバムタイトル曲に「アライブ」

《問》

サーディンディンは、チベット語や、この曲は自分で作った言葉、「造語」で歌ってるんですね。  
ユーチューブで検索したらステージもすごいんです。  
チベット、モンゴル、シルクロードを想像するようなアジアをテーマにした壮大な感じで、演奏メンバーも20人くらいいて、ビョーク を初めてみたときのような衝撃でした。

《問》

ドライブしながら、爆音でサーディンディンをかけると、車から馬に乗り換え、チングスハーンになった気分になります。  
いつか旅してみたいチベットというところへの郷愁に駆られます。

先週から山下達郎ツアーで九州を回っていて、この長崎は何回も来てますが、いつも私の心を揺さぶる街です。  
明日は軍艦島とチャンポン麺！ピバ長崎！

《2 曲目終わり》

【エンディング 短い】

さて、今週の伊藤広規 旅と人と音楽と。みなさんいかがでしたでしょうか？  
この番組への感想や私へのメッセージなど、伊藤広規『旅と人と音楽と』公式サイトからいただけるととっても嬉しいです。

URLはKokiradionet (コーキレディオドットネット)、アルファベットでケーオーケーアイ アールエーディーアイオー  
ドットネットです。

メッセージをくださった方の中から毎月1名さまに、広規チャリティバンドナと、広規ラジオ 特製グッズをプレゼント!

では、来週も水曜日

この時間に!

《間》

伊藤広規でした。